

# 今月の古河っ子

いい子が育つ古河



宮口朔空くん  
(令和6年4月生まれ)

いっぱい笑ってすくすく大きくなってね!



電日桜莉ちゃん  
(令和4年4月生まれ)

元気で優しい子になってね! 笑顔が大好きだよ



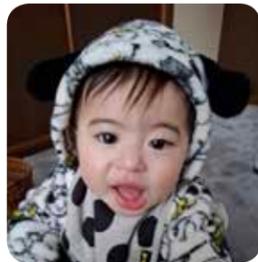
神矢充輝くん  
(令和4年2月生まれ)

なんでもいのにのまねっこ♪元気に大きくなあれ★



岩崎伝真くん  
(令和5年9月生まれ)

生まれてきてくれてありがとう! 大好きだよ



小島幸弥くん  
(令和6年2月生まれ)

パパとママにたくさんの癒やしをありがとう☆



茂木陽咲くん  
(令和5年4月生まれ)

これからも笑顔いっぱい元気に育ってね♪



お子さんの写真を募集中! <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください!



## わたしの夢

### 人々の暮らしを守る警察官

諏訪大悟さん 小堤小学校6年生

僕の将来の夢は、警察官です。きっかけは、叔父が警察官をしており、その姿に憧れたからです。その人が僕に警察官の仕事について話をしてくれたことがあります。毎日の訓練や、いざというときに自分に危険が迫ることが大変だと言っていました。僕はそのことを聞いて、自分の身をていして私たちの生活を守る警察官は、かっこいいと思いました。だから僕は、立派な警察官になって人を助けたいです。そのために難しいこともあきらめず、可能性を信じて、努力を重ねていきたいです。



## キラリ 古河ビト

### 生きる力を絵に宿して

数々の美術展で受賞を重ねる油絵作家

### 高橋英美さん(本町)

令和6年度茨城県芸術祭の洋画部門で優賞を受賞した高橋さん。歴史ある芸術団体「創元会」で運営委員を務め、国立新美術館で開催される創元展などでも数多くの賞を受賞しています。精力的に活動を続ける高橋さんに、油絵の魅力や作品に対する思いを伺いました。

中学生の頃、美術の先生に絵を褒められたことが、絵を描きたいと思うきっかけになったと話す高橋さん。結婚後に本格的に制作を始め、県の勤労者美術展で厚生労働大臣賞を受賞するなど、数々の作品を生み出してきました。

高橋さんの描く油絵は、他の画家より使用する絵の具の量と種類が多いのが特徴です。そうすることで絵に力強さが出ると話します。また「生きる」をテーマとして木を描くことが多く、モデルにする実際の木よりも大きな木をイメージして描くことで、木の持つ生命力を表現できるように制作に励んでいるそうです。

高橋さんが師と仰ぐ荻野博先生が「納得いくまで描き続ける努力家」と話すとおり、キャンバスに向き合う時間は毎日5時間以上。また時間があれば木を眺めに出かけ、どのように個性を出せるかを考えるなど、絵画への向上心は尽きることがありません。

現在、市内で水彩画・色鉛筆画教室駒美会の講師としても活躍する高橋さん。絵を描くことを楽しみながら、今後も良い作品を作りたいと話します。そんな高橋さんの力作が古河街角美術館で展示中です。ぜひ、ご来場いただき、作品から生きる力を感じてみてはいかがでしょうか。

### 古河の絵画美術展(第Ⅱ期)

展示期間 3月9日(日)まで  
時間 9時~17時(入館は16時30分まで)  
場所 古河街角美術館  
問 古河街角美術館  
TEL22-5911



▲年間50枚以上の絵を描きます



▲茨城県芸術祭での受賞作「生きる」